

令和 4 年度 県立総合技術研究所 水産海洋技術センター 「成果発表会」の開催について

1 要旨・目的

県立総合技術研究所 水産海洋技術センターの成果について、識者による関連講演と併せて一般県民、関連業界及び行政関係者等に紹介する。(今年度は、内水面漁業に関するテーマに絞り開催する。)

2 現状・背景

内水面漁業協同組合の経営は年々厳しさを増している。その原因の一つであるアユ冷水病について、水産海洋技術センターでは 30 年にわたって対策研究を進め、耐病性系統の作出やワクチン開発を行ってきた。また、広島県を代表する輸出産品である錦鯉について、輸出のために必要な疾病対策に行政機関と連携して積極的に取り組み、生産者の活動を支えてきた。これらの成果について紹介する。

3 概要

(1) 実施主体

県立総合技術研究所 水産海洋技術センター

(2) 実施期間(日時)

令和 5 年 2 月 21 日(火) 13:30~16:00

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止とする。

(3) 場所

広島ガーデンパレス 2階 孔雀(広島市東区光町一丁目 15 番)

(4) 実施内容

ア 基調講演

演題: 内水面漁業協同組合の抱える経営上の課題と対策

講師: 国立水産研究・教育機構 水産技術研究所 増田 賢嗣 氏

イ 成果発表

(ア) 広島県における冷水病対策研究の歴史と今後の展望

水産研究部 主任研究員 永井 崇裕

(関連事例紹介 広島県内水面漁業協同組合連合会 専務理事 飯尾 協 氏)

(イ) 広島県の錦鯉養殖~近年の海外輸出動向~

次長(兼)技術支援部長 柳川 建

(関連事例紹介 株式会社小西養鯉場 代表取締役社長 小西 丈治 氏)

ウ ポスター発表



令和4年度 広島県立総合技術研究所

水産海洋技術センター 成果発表会

参加費 無料

事前申込不要

どなたでも参加可

内水面漁業に関する研究成果を幅広く報告します

- 1 日時 令和5年2月21日(火) 13:30~16:00
※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止とする。
- 2 場所 広島ガーデンパレス 2階 孔雀 (広島市光町一丁目15番)
- 3 内容 (タイトルはいずれも仮題)

(1) 基調講演

表題	内容	発表者
内水面漁業協同組合の抱える経営上の課題と対策	資源を増殖する義務を負うという特性故に厳しい内水面漁協の経営実態について、その対策と併せてご説明いただきます。	国立水産研究・教育機構 水産技術研究所 増田 賢嗣 氏

(2) 成果発表

ア 冷水病に関する研究の紹介

表題	内容	発表者
広島県における冷水病対策研究の歴史と今後の展望	内水面漁協の経営を苦しめてきた冷水病に関する研究の歴史と現状を紹介いたします。	水産研究部 主任研究員 永井 崇裕
(関連事例紹介)	県内内水面漁業の最重要魚種であるアユについて、漁業、遊漁の現状等をご紹介いただきます。	広島県内水面漁業協同組合 連合会 専務理事 飯尾 協 氏

イ 錦鯉養殖に対する技術支援の紹介

表題	内容	発表者
広島県の錦鯉養殖 ～近年の海外輸出動向～	本県の錦鯉養殖について、技術支援制度の利用状況からみた海外輸出の動向を中心に紹介いたします。	次長(兼)技術支援部長 柳川 建
(関連事例紹介)	全国2位の生産量を誇るとされる本県錦鯉養殖の歴史と最近の状況についてご紹介いただきます。	株式会社小西養鯉場 代表取締役社長 小西 丈治 氏

(3) その他

ポスター発表等

問い合わせ先 0823-51-2173

広島県 水産海洋技術センター

検索